

## 第1号（報告事項）

### 平成28年度事業報告

#### 概要

1. 我が国の経済は、米国におけるトランプ政権の誕生でTPPの発効が危ぶまれ、先行きが不透明な状況になっている。こうした中、我が国における鶏卵・鶏肉の価格は、近年にない高相場が長期に亘り継続してきた。ただ、素ひなコストの大部分を占める配合飼料価格は、若干の値下げがあったとはいうものの、農家購入価格は高水準で推移するとともに、光熱費、燃料費や生産資材費なども依然高い水準にあり生産者の経営を圧迫している。

こうした中、種鶏孵卵業界は、長期に亘り鶏卵・鶏肉価格が上昇したとは言うものの、これまで生産費の上昇が適時適切に素ひな価格に反映されてこなかったことに加え、円安等による飼料高等のコストアップ要因を抱えていることから、素ひな生産の経営環境は引き続き厳しい状況にある。

鳥インフルエンザについては、平成28年11月に青森県と新潟県において高病原性鳥インフルエンザが発生したが、これらを皮切りに全国的に数多くの発生を見た。幸い、どの事例も関係者の迅速な対応により蔓延することなく迅速な封じ込めに成功したが、多くの事例で防鳥ネットのほころびや鶏舎における隙間が確認されており、こうした対策を厳密に適応していく必要性がより重要となってきた。海外では近隣のアジア諸国を含め全世界的に鳥インフルエンザの発生がみられており、我が国の種鶏ふ卵業においても、いつどこで発生してもおかしくない状況を鑑みると引き続き厳格な衛生管理の徹底と防疫対応が必要とされている。

一方、我が国の原種鶏・種鶏の主な輸入先である英、仏、独等においても高病原性鳥インフルエンザが相次いで発生し、我が国への侵入防止の観点から家きん等の輸入停止措置が頻繁に執られてきた。こうした状況の中、英国政府との間ではコンパートメント主義について合意が形成され、本年2月1日にはコンパートメント主義が適用され日本認定コンパートメント施設から輸出される家きん初生ひなについて輸入が認められることになった。

TPPについては、その発効が非常に不透明になってきているものの、二国間自由貿易協定や経済連携協定による関税交渉がこれに置き換わる可能性についても示唆されており、今後ともこうした動きにも注視していく必要がある。

種鶏孵卵業界としては、鶏卵・鶏肉の大幅な需要増が見込めない中であって飼料高等のコストアップ要因に加え、人材難の問題等を抱えており、経営環境は非

常に厳しいが、引き続き経営体質の強化を図り鶏卵・鶏肉生産のための素ひなを安定的に供給するため、清浄で健康な素ひなの生産に努めてきたところである。

平成28年度に実施した各事業の実施状況は次のとおり。

## I 公益目的事業

### 1 種鶏導入調査事業（自主財源）

#### (1) レイヤー素ひな計画生産検討会・レイヤー孵卵部会・ひな育成部会

年度中に2回（平成28年7月7日（木）、平成29年2月16日（木））、検討会を開催して、レイヤーの種鶏導入実績及び種鶏導入計画を基に「平成28年及び平成29年の素ひな生産見込み等」について検討を行い、レイヤー素ひなの生産見込み羽数を公表した。

##### ○ 種鶏導入実績（平成28年1月～12月）

1, 156千羽（国内産種鶏1, 061千羽、輸入種鶏95千羽）  
（対前年比102.7%）

#### (2) ブロイラー素ひな計画生産検討会・ブロイラー孵卵部会

年度中に2回（平成28年7月6日（水）、平成29年2月16日（木））、検討会を開催して、ブロイラーの種鶏導入実績及び種鶏導入計画を基に「平成28年及び平成29年の素ひな生産見込み等」について検討を行い、ブロイラー素ひなの生産見込み羽数を公表した。

##### ○ 種鶏導入実績（全国）（平成28年1月～12月）

5, 014千羽（国内産種鶏4, 829千羽、輸入種鶏185千羽）  
（対前年比98.2%）

### 2 鶏ひなふ化羽数調査事業（孵化場経営改善推進事業）（JRA・自主財源）

#### (1) 鶏ひなふ化羽数データ収集調査

毎月全国のふ卵場（99か所、うちレイヤー30ふ卵場、ブロイラー69ふ卵場）を対象に実施。レイヤーについては採卵用めすの素ひな出荷・え付け羽数、ブロイラーについては、ブロイラー用素ひなの出荷・え付け羽数について都道府県別え付け羽数を調査。

#### (2) 鶏ひなふ化羽数データの公表

調査結果は、毎月概要としてホームページに公表するとともに、調査協力ふ卵場に情報提供した。併せて、年次ごとに年報として取りまとめ公表。

#### (3) 素ひな出荷・え付け羽数実績（全国）（平成28年1月～12月）

○ 採卵用めすえ付け羽数：106, 941千羽（対前年比103.1%）

○ ブロイラー用え付け羽数：721, 732千羽（対前年比101.4%）

### 3 鶏卵・鶏肉の消費促進事業（自主財源）

#### （1）鳥インフルエンザ対策・鶏卵消費促進事業（（一社）日本養鶏協会）

（一社）日本養鶏協会が実施する「国産鶏卵に関する普及啓発事業」について  
レイヤー会員からの拠出金（組織強化費から充当）を負担金として拠出し協力。

主な事業：「いいたまごの日」

#### （2）全国鶏肉消費促進協議会に対して協力負担金を拠出し協力。

全国鶏肉消費促進協議会（事務局：（一社）日本食鳥協会）

主な事業：国産チキン祭りへの後援及び助成

構成団体：（協）日本飼料工業会、全国農業協同組合連合会、  
（一社）日本養鶏協会、（一社）日本種鶏孵卵協会、  
（一社）日本食鳥協会

### 4 孵化場経営改善推進事業（JRA助成事業）（平成27年度新規：3カ年事業）

#### （1）孵化場経営改善推進事業 事業推進委員会

##### ① 委員構成

山本 満祥：（株）山本養鶏孵化場 代表取締役社長

渡邊 周治：（株）ゲン・コーポレーション 代表取締役社長

池内 豊：（独）家畜改良センター兵庫牧場長

山上 善久：（一社）日本養鶏協会 技術主幹

##### ② 事業推進委員会の開催

##### i 第1回事業推進委員会

開催期日：平成28年7月8日（金）

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

1) 平成27年度孵化場経営改善推進事業の進捗状況

2) 平成28年度孵化場経営改善推進事業の実施計画

#### （2）孵化場経営改善推進事業 ひな羽数予測システム改善事業

専門委員会

##### ① 委員構成

山本 満祥：（株）山本養鶏孵化場 代表取締役社長

山下 眞：（株）一宮家禽孵卵場 代表取締役社長

日比野義人：(株)後藤孵卵場 代表取締役社長  
森 泰三：(株)森孵卵場 代表取締役  
都丸 高志：(株)トマル 代表取締役社長  
渡邊 周治：(株)ゲン・コーポレーション 代表取締役社長  
池内 豊：(独)家畜改良センター兵庫牧場長  
山上 善久：(一社)日本養鶏協会 技術主幹

② ひな羽数予測システム改善事業専門委員会の開催

i 第1回専門委員会

開催期日：平成28年7月14日（木）

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

- 1) 平成27年度孵化場経営改善推進事業の進捗状況
- 2) 平成28年度孵化場経営改善推進事業の実施計画
- 3) その他

ii 第2回専門委員会

開催期日：平成29年3月2日（木）

協議事項：

- 1) 平成28年度孵化場経営改善推進事業の進捗状況と結果
- 2) その他

(3) 孵化場経営改善推進事業 生産費算定システム構築事業  
専門委員会

① 委員構成

山本 満祥 (株)山本養鶏孵化場 代表取締役社長  
山上祐一郎 (株)福田種鶏場 代表取締役社長  
車田 信彦 (株)福島エンヤ 代表取締役社長  
永津 一博 (株)イシイ 顧問  
都丸 高志 (株)トマル 代表取締役社長  
渡邊 周治 (株)ゲン・コーポレーション 代表取締役社長  
村田 明敏 (株)村田孵化場 代表取締役社長  
池内 豊 (独)家畜改良センター兵庫牧場長

② 生産費算定システム構築事業専門委員会の開催

i 第1回専門委員会

開催期日：平成28年7月15日（金）

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

- 1) 孵化場経営改善推進事業の概要
- 2) 平成28年度孵化場経営改善推進事業の実施計画
- 3) その他

ii 第2回専門委員会

開催期日：平成29年3月3日（金）

協議事項：

- 1) 平成28年度孵化場経営改善推進事業の進捗状況
- 2) 平成29年度孵化場経営改善推進事業の実施計画
- 3) その他

(4) 孵化場経営改善推進事業 種鶏孵卵衛生管理士研修会の開催

開催期日：平成28年10月25日（火）～28日（金）3泊4日

開催場所：(独)家畜改良センター中央畜産研修施設

(福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1)

参加者：61名

## II 種鶏孵卵経営対策事業（自主財源事業）

1 種鶏・ふ卵経営セミナー事業

テーマ：種鶏場及びふ卵場を巡る情勢

開催期日：平成29年2月16日（木）

場所：馬事畜産会館 会議室

参加者：44名

演題及び講師

○「最近の養鶏情勢」について

島田 博 （一社）日本養鶏協会顧問

○「種鶏場及び孵卵場の高品質生産」

橋本 信一郎 （株）ウェルファムフーズ生産販売企画部スーパーバイジング室長

○「鶏血液寄生原虫病、特に鶏ロイコチトゾーン症とその情勢について」

磯部 尚 鶏病研究会理事長

## 2 地域協議会等組織強化対策事業

### (1) 地域協議会

#### ① 東日本レイヤー孵卵協議会

##### i 通常総会

開催期日：平成28年4月14日（木）

場 所：馬事畜産会館

議 題：(1) 平成27年度事業報告及び決算報告

(2) 平成28年度事業計画及び予算案

(3) 情勢報告・意見交換

(4) 出席会員：7社、8名（ほか事務局1名）

##### ii 現地協議会

開催期日：平成28年10月14日（金）

場 所：美ヶ原温泉 旅館すぎもと（長野県松本市里山辺451-7）

議 題：(1) 地域情勢報告・意見交換

(2) 協会事業

(3) 鳥インフルエンザ関連

(4) 出席会員：7社、8名（ほか事務局1名）

#### ② 中部レイヤー孵卵協議会

##### i 総会

開催期日：平成28年4月28日（木）

会 場：重慶飯店（名古屋市中区栄3-16-1）

議 題：(1) 平成27年度事業報告及び収支決算承認

(2) 平成28年度事業計画及び収支予算承認

(3) 役員改選に関する件

参加者：4名（6社）（ほか、協会より山本満祥会長）。

#### ③ 九州・四国レイヤー孵卵協議会

##### i 総会

開催期日：平成28年6月22日（水）

会 場：八仙閣（福岡市博多区博多駅東2丁目7-27）

議 題：(1) 平成27年度事業報告及び収支決算に関する件

(2) 平成28年度事業計画及び収支予算案承認の件

(3) 役員改選に関する件

参加会員：10名（8社）（ほか事務局1名）

④ 東日本ブロイラー孵卵協議会

i 通常総会

開催期日：平成28年4月13日（水）

場 所：貸し会議室日本橋清心丹

出席会員：会員8社、委任状7社 計15社（会員数21）

参加者9名（ほか事務局1名）

議 題：(1) 平成27年度事業報告及び決算報告  
(2) 平成28年度事業計画及び予算案  
(3) 役員改選に関する件  
(4) 情勢報告・意見交換

⑤ 西日本ブロイラー孵卵協議会

i 総会

開催期日：平成28年7月28日（木）

場 所：福岡朝日ビルディング貸会議室（福岡市博多区博多駅前2-1-1）

参 加 者：24名（19社、ほか事務局1名）

議 題：(1) 平成27年度事業報告及び決算報告  
(2) 平成28年度事業計画及び予算案  
(3) その他

(2) 各部会の開催状況

① 原種鶏部会

i 総会

開催日：平成28年7月20日（水）

場 所：千歳空港国内線3階 会議室3B

議 題：(1) 平成27年度事業報告及び決算報告について  
(2) 平成28年度事業計画及び予算(案)について  
(3) 海外におけるAI発生とひなの輸入検疫問題について

出席者：7名（7社、ほか事務局1名）

ii 原種鶏部会「動物衛生課及び動物検疫所との情報交換会」

開 催 日：平成28年9月13日（火）15：00～17：15

場 所：農林水産省生産局第6会議室

訪 問 者：奥山 海平（東西産業貿易(株)）  
山本 剛史（(株)ヤマモト）  
森永 浩二（(株)日本チャンキー）

小久保英明 (株)日本チャンキー)  
森川 敦夫 (株)日本チャンキー)  
渡邊 周治 (株)ゲン・コーポレーション)  
後藤 直樹 (株)アイエスエージャパン)  
森腰 俊亨 (株)松阪ファーム)  
守屋 昇 (株)日本シェーバー)  
米田 勝紀 ((一社)日本種鶏孵卵協会)

○ 農林水産省側

川田 良浩 (消費・安全局動物衛生課 課長補佐 (検疫業務班))  
吉戸 紀子 (消費・安全局動物衛生課 課長補佐 (リスク分析班))  
北野 喬大 (消費・安全局動物衛生課 輸入動物検疫係長)  
宮田 透 (生産局畜産部畜産振興課 課長補佐)

○ 動物検疫所側

鎌川 明美 (調整指導官)  
室賀 紀彦 (精密検査部 危険度分析係長)

○協議事項：(1) コンパートメント制度の導入

- (2) 海外における地域主義の導入に向けての動き
- (3) 輸入解禁についての進捗状況
- (4) 初生ひなの輸入検疫上の諸問題

② 国産鶏普及協議会

i 通常総会

開催期日：平成28年7月1日(金)

場 所：馬事畜産会館 会議室 出席会員：8社

参加者：21名

(会員8名、来賓4名、優良農家1名、報道6社、事務局2名)

議 題：\*平成27年度事業報告及び収支決算報告

\*平成28年度事業計画及び予算案

ii 記念事業

開催期日：平成28年7月1日(金)

場 所：馬事畜産会館 会議室

◎ 国産鶏飼養優良経営農家表彰事業：

採卵鶏部門：株式会社 山下養鶏場 代表取締役 山下 忠  
(東京都あきる野市留原209)



肉用鶏部門： 農村エナジー株式会社

(岡山県倉敷市西富井1076-17)

◎ 意見交換会

\* 「国際化の進展に対応した国産鶏種（卵用鶏）の開発及び普及促進」

講師：山本 洋一（(独)家畜改良センター 岡崎牧場長）

\* 「香港における国産鶏肉のプロモーションに参加して」

講師：池内 豊（(独)家畜改良センター 兵庫牧場長）

\* 「最近の養鶏情勢とTPP締結の影響」

講師：廣川 治（(一社)日本養鶏協会 専務理事）

iii 現地研修会（平成28年9月20日（火）～9月21日（水））

1) 平成28年9月20日（火）

場所：岐阜長良川温泉 ホテル パーク（岐阜市湊町397-2）

出席者：19名（会員8名、来賓6名、マスコミ4名、事務局1名）

演題&講師：

「奥美濃古地鶏について」

岐阜県畜産研究所養豚・養鶏研究部長 酒井喜義

同部主任研究専門員 石川 寿美代

「奥美濃古地鶏（肉用種）の生産状況と直近の取組み」

岐阜アグリフーズ(株)代表取締役専務 後藤康晴

同社 生産部長 大野 篤

同社 塔之洞事業所長 山内 知文

「(独)家畜改良センター兵庫牧場の概要」

(独)家畜改良センター兵庫牧場種鶏係長 佐藤美保

「(独)家畜改良センター岡崎牧場の概要」

(独)家畜改良センター岡崎牧場検定係長 稲生 哲

2) 平成28年9月21日（水）

◎場所：岐阜長良川温泉 ホテル パーク（岐阜市湊町397-2）

演題&講師：

「(株)後藤孵卵場の概要」

(株)後藤孵卵場代表取締役社長 日比野 義人

◎(有)慈鶏園の鶏舎、直売所の視察（垂井町）

演題&講師：

「(有)慈鶏園」代表取締役 米山 幸夫

#### iv シンポジウム

「地鶏等（国産鶏種含む）の今後のあり方～消費者をターゲットにした戦略～」

開催期日：平成28年9月29日（木）

場 所：姫路・西はりま地場産業センター901会議室

出席会員：6名 参加者：115名

議 題：\* 地鶏・銘柄鶏の生産普及状況

\* 講演

地鶏等の今後のあり方～消費者をターゲットにした戦略～

(株)野乃鳥 代表取締役社長 野網 厚詞

\* 事例紹介

#### v 平成28年度鶏改良推進中央協議会（(独)家畜改良センター主催）

開催期日：平成28年9月30日（金）

場 所：姫路・西はりま地場産業センター901会議室

出席会員：4名 参加者：103名

議 題：\* 中央情勢報告

\* 鶏改良増殖に関する取り組み状況

\* 地鶏等組み合わせ検定

#### 3 平成28年度定時総会・理事会等の開催概要

##### (1) 第41回定時総会

開催日時：平成28年5月19日（木）

場 所：馬事畜産会館

出席会員：総会員79名中、本人出席27名、委任状12名、書面議決者29名、計68名

議 題：

第1号報告事項：平成27年度事業報告

第2号決議事項：平成27年度貸借対照表及び正味財産増減計算書

第3号報告事項：平成28年度事業計画及び平成28年度正味財産増減予算書

第4号決議事項：平成28年度会費の額及び徴収方法

第5号決議事項：平成28年度借入金最高限度額

第6号決議事項：理事及び監事の報酬の額及び支給基準

第7号決議事項：役員を選任

(2) 協会運営事項

① 平成27年度（一社）日本種鶏孵卵協会事業・会計監査

開催日：平成28年4月14日（木）

場 所：（一社）日本種鶏孵卵協会 事務局

監 事：都丸 高志 山上 祐一郎

会 長：山本 満祥

監査事項：＊平成27年度事業報告

＊平成28年度収支決算及び貸借対照表、正味財産増減計算書、  
財産目録、監査講評

② 理事会（理事・監事）

i 第1回理事会

開催日時：平成28年4月20日（水）

場 所：馬事畜産会館 会議室

出席理事・監事：理事13名（総理事15名） 監事2名

協議事項：

○第41回定時総会の招集日時と場所について

○第41回定時総会提出議案について

第1号報告事項：平成27年度事業報告

第2号決議事項：平成27年度貸借対照表及び正味財産増減計算書  
会計監査報告

第3号報告事項：平成28年度事業計画及び平成27年度正味財産増減予算書

第4号決議事項：平成28年度会費の額及び徴収方法に関する件

第5号決議事項：平成28年度借入金最高限度額に関する件

第6号決議事項：理事及び監事の報酬の額及び支給基準に関する件

第7号決議事項：役員を選任に関する件

○JRA畜産振興事業について

○会員の異動状況について

○第3回理事会及び平成28年度第1回素ひな計画生産検討会の日程について

ii 第2回理事会

開催日時：平成28年5月19日（木）

場 所：馬事畜産会館 会議室

出席理事・監事：理事14名、監事2名出席（総理事15名、監事2名）

協議事項：会長理事、副会長理事、常務理事の選出

iii 第3回理事会

開催日時：平成28年7月7日（木）

場 所：馬事畜産会館 会議室

出席理事・監事：理事12名、監事2名出席（総理事15名、監事2名）

協議事項：

- 平成28年度事業の推進について
- 「孵化場経営改善推進事業」について
- 新規案件の発掘（JRA畜産振興事業）
- 講演

演題：「飼養衛生管理基準の見直しについて」

講師：農林水産省消費・安全局動物衛生課課長補佐 相田 善勝

iv 第4回理事会

開催日時：平成29年2月15日（水）

場 所：馬事畜産会館 会議室

出席理事・監事：理事12名、監事2名出席（総理事15名、監事2名）

協議事項：

- 第42回定時総会提出議案のうち
  - ・平成28年度事業報告及び決算見込みについて
  - ・平成29年度事業計画及び予算（案）について
- JRA畜産振興事業の新規要求（案）について

③ 正副会長会議

i 第1回正副会長会議

開催日時：平成28年4月20日（水）

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：理事会審議事項について

ii 第2回正副会長会議

開催日時：平成28年7月6日（水）

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：理事会審議事項について

iii 第3回正副会長会議

開催日時：平成29年2月15日（水）

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：理事会審議事項について